

法政大学情報科学部

合格者向けオリエンテーション2021

入学前学習課題解説

(総合型選抜・学校推薦型選抜等合格者向け)

情報科学部 佐々木 晃

合格おめでとうございます！



入学までの課題(情報科学部)

- 対象者: 総合型選抜・学校推薦型選抜等入試合格者
 - 指定校推薦入学試験 合格者
 - 公募推薦入学試験 合格者
 - スポーツ推薦入学試験 合格者
 - 法政大学付属高校 2020年度3年生(情報科学部入学予定者)
- 一般選抜入試合格者には入学後に別途, 課題を指示します

課題1 (提出必須)

- 「日本語練習帳」(大野晋, 岩波新書)を読んで以下の課題に取り組む。
 - (a) 「日本語練習帳」に掲載されている練習問題をすべて解きながら最後まで読むこと
(練習問題は解説を読む前に解答すること)。
また、最後まで読んだら巻末の配点表を参照して自己採点すること。
 - (b) 別紙のコラムは、情報処理学会※の学会誌(「情報処理」Vol.54 No.7 July 2013)に掲載されたものである。この文章を読んで、
(b-1) 400字に縮約しなさい。／(b-2) 200字に要約しなさい。
※コンピュータとコミュニケーションを中心とした情報処理に関する学術、技術の進歩発展と普及啓蒙を図ることを目的として活動する一般社団法人
- (a)はA4レポート用紙に記し、自己採点結果を記入した表紙を付ける。
(b-1)、(b-2)はそれぞれ400字詰め原稿用紙に丁寧に書く。
(a)、(b-1)、(b-2)の順に解答を並べたうえで、全てをホチキス綴めすること。

課題図書

- 日本語練習帳
 - 大野晋著、岩波新書
- 書店等(実店舗、ネット)で購入のこと。
 - 電子書籍も可



コラム：障害者への気配り



IPSJ Magazine

[巻頭コラム]

障害者への気配り

■ 遠藤 謙

日本は古来から相手のことを思いやり、気遣うことが美德とされているが、行き過ぎた気配りが逆に相手に不快感を与えることもある。その顕著な例の1つに障害を持つ人に対する気配りがあげられる。

「障害」という言葉は以前は「障礙」と表記されていた。「妨げる」という意味の「礙」が略字の「碍」になり、戦後の常用漢字制限で「害」と表記されるようになった。しかし、読みは同じでも「妨げ」と「害」では、受ける印象はかなり異なるため、「障害」を「障碍」かあるいは「障がい」と表記しようという考えがある。私自身、講演のときに「障がい」と表記していたのだが、知り合いの股離断患者の方に、「障がい」という言葉は逆にはれものに触れるような表現だということを言われ、はっとしたことがある。自分では障害というものに対して真摯に向き合っていると思い込んでいたのだが、実はこういった配慮が逆に相手を不快にさせるときもあるということを知ったのだ。

先日ツイッター上で子役俳優のはるかぜちゃんが「乙武先生とだるま先生は似ている」と発言したところ、多くの方から「それは不謹慎な発言だから控えるべき」「不快な発言だ」との返信が殺到した。乙武先生とは、先天性四肢切断の障害を持つ乙武洋匡氏のことです。だるま先生とはだるまをモチーフにした明光義塾のキャラクターである。まず、「だるま先生と僕が似ている」と言いだしたのは、乙武氏本人であり、乙武氏とはるかぜちゃんは以前か

■ 遠藤 謙
ソニーコンピュータサイエンス研究所
所アソシエイトリサーチャー

ロボット技術を用いた身体能力の拡張に関する研究に携わる。また、途上国向けの義肢装具の開発、普及を目的としたD-Legの代表を務める。



ら交流があり、信頼しあう友人である。彼女もそうした事情は何度も説明したが、それでも「不特定多数の目で見られている場所で、誤解を与えるような発言をすべきではない」「この発言を読んで不快になる人もいる」と食い下がる方が多数いた。つまり、乙武氏以外の四肢のない人が読んだら、傷つくのではないかとという先回りした配慮である。乙武氏はこうした気配りを逆に障害を意識しすぎた配慮として不快に思っているのである。まだまだ障害という目を背ける人も多いが、乙武氏のような自分の障害を自分の1つの特徴として前向きにとらえている方も増えてきている。もちろん、障害と一言でいうとあまりにたくさんの症状があり、一概には言えない部分もあるのも事実である。

私は義足の研究をはじめたときには、心のどこかで身体障害者を同情する気持ちがあった。しかし、競技用義足を用いたアスリートの走りをはじめ見たとき、足がないことによって生まれる大きな可能性も感じた。それから、身体障害を損失としてではなく、新たな機能を付加できる余白としてとらえるようになった。さらに失われた機能の補間だけでなく拡張が可能になると、健常者と障害者の比較は無意味になる。私はエンジニアとしてこのような変革の一端を担いたいと思っている。私がこのような文章を書くことによって不快に思う方々もいると思う。そのような人たちの意見こそ真摯に受け止めていきたい。



課題2 (提出必須)

- e-Learning システム「共通基盤教育システム」にログインし、表示された単元の問題全てに、全問正解するまで取り組む
 - アクセス方法やID等は、すでにメールでお知らせ済み
- わからない問題がある場合は、現在在籍する高校の教員に質問すること。
- 教員に質問できない場合など、自力で解く場合は、可能な限り「ヒント」を見ずに解いてください。
- 「ヒント」を見た問題については、下記のように学習します。
 - 自分がわからなかった概念や公式などを教科書で調べる。
 - 要点をわかりやすくレポート用紙等にまとめること。
 - その問題に関する教科書の類題(例題でも良い)を解く
 - 解答をレポートに記すこと。
 - 作成したレポートは、他の課題とともに提出すること
 - レポート用紙のサイズ、枚数等は自由

課題2 (一部提出必須)

- 各自が使用している数学の教科書の問題を、数II/Bの最初から開始して、できるところまでノートに解く。
例題だけを参考に自分で考えて、省略せずにきちんとした解答を書くこと。
- 教科書の解答で図や表が使われている場合は、それらも省略することなく書く。
また、グラフが必要な解答の場合は、丁寧にグラフを作成する。
数II/Bでは難しい場合には、数I/Aを対象にしても構わない。
- 最後に解いた問題を一問分A4のレポート用紙に写す。

課題3 (提出不要)

- 英語について、(a)～(d)のいずれか(複数が望ましい)の内容に取り組む。
 - (a) ネイティブスピーカーの読み上げた音声が入手可能な英文を、以下の要領で朗読する。
 - まず、辞書を引くなどして、英文の意味を正確に把握する。
 - 英文を見ながら、ネイティブスピーカーの音声を聞く。
 - よどみなく読めるようになるまで、声を出して英文を読む。
 - 自分の音声を録音して聞いてみて、ネイティブスピーカーと異なる部分を修正する。朗読する英文は以下のいずれかとする。
 - 各自が使用している教科書(何年生向けでも構わない)英文が理解できるレベルのものを使用する。
 - VOAのspecial Englishの音声付きストーリー。
 - VOAは、<http://learningenglish.voanews.com/> でアクセスすることができる。
 - (b) センター試験の英語のリスニング用の参考書、問題集に取り組む。
 - (c) 多読リーダーをできるだけたくさん読む。
 - (d) TOEICの問題集に取り組む。

補足

- 課題2、課題3は、入学直後に実施される必修科目の数学・英語のレベル別クラス分けのためのテストの準備になりますので、できるだけたくさん取り組んでください。
 - 英語はTOEIC®-IPを実施します

提出について

- 課題1、課題2ともに、表紙に学生証番号※と氏名を記入したうえで、ガイダンス時に提出してください。

※学生証番号は入学直前に発表します（出願時の登録アドレスにご案内します。）

- 担当: 教授 佐々木晃
 - 疑問などがある場合はメールで問い合わせてください。
 - 問い合わせの際は、メールの本文に入学予定の学科名、高校名、氏名を明記してください。